

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年5月7日

【2018年4月28日～2018年5月4日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドルおよび対円で下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。米ドル高の進行を受けて、新興国市場などの高リスク資産への需要が減退したことが、こうした動きの背景となりました。

対米ドルでのブラジル・レアルの下落ペースが速いことから、ブラジル中央銀行は2日（現地、以下同様）の市場終了後に、通貨スワップによる米ドル売りの為替介入を強化することを発表しました。

注目されていた3月の鉱工業生産は、事前の市場予想や前回2月分の数字を下回る弱い結果でした。景気回復ペースの鈍化が鮮明となり、2%台後半とされていた2018年の実質GDP成長率の達成はかなり困難な状況となりました。ブラジル中央銀行も今後、景気見通しの下方修正を行う可能性が高いとみられます。

政治情勢では、大統領選に向けた動きが目立ったものはありませんでしたが、ベネズエラ向け債務保証に対する財政資金の確保が喫緊の課題となっています。ブラジル政府が債務保証を行っているベネズエラの借入が8日に返済期を迎えますが、ベネズエラに返済の見込みが立たないため、最大で15億レアル相当の返済を肩代わりせざるを得ない可能性が高まっています。現段階ではブラジル政府にも十分な資金の準備がなく、債務保証を履行できない可能性もあるため、テメル大統領はアジア歴訪の予定を取りやめて、この追加的な財政支出に対する議会承認を早期に取り付けることを目指しています。

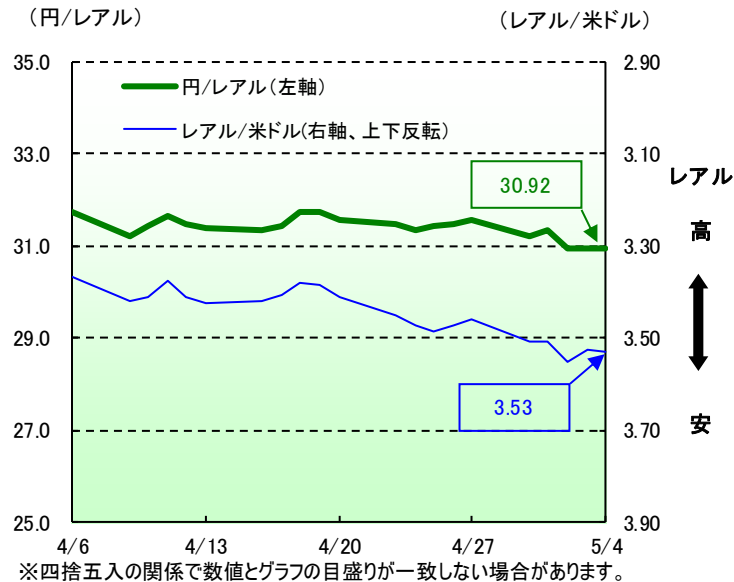
### 【2】今週の見通し

今週はIPCAインフレ率や小売売上高などの経済指標の発表に注目が集まります。IPCAインフレ率は市場予想が前年比2.8%程度となっており、前回3月分比べて小幅に上昇するものの、依然としてブラジル中央銀行のインフレ目標レンジを下回る見込みです。

新興国市場に対する投資家のセンチメントは悪化が続いており、米国の長期金利上昇や米ドル高の進行がブラジル・レアルの下落をもたらす可能性には引き続き注意が必要です。

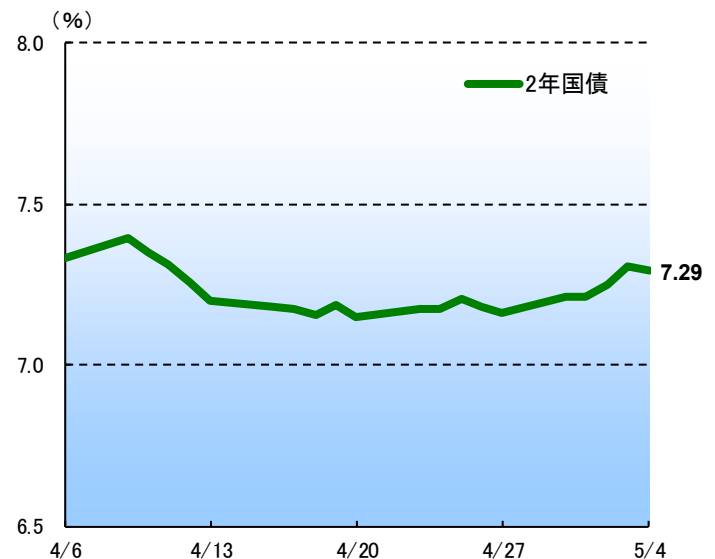
### 【ブラジル・レアル 為替推移】

（2018年4月6日～2018年5月4日）



### 【ブラジル 金利推移】

（2018年4月6日～2018年5月4日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management